

〔枠材用〕MPホールダウン 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

用途

- 土台・基礎と柱の緊結、柱と横架材の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用します。
※この製品は枠組壁工法用ではありません。同じ形状でMPホールダウン108が別途ございます。

特長

- 柱に枠材(厚み45mm)を介して施工できます。
- 真壁パネル工法の枠材や入隅時の受材を介したまま施工できるため、枠材・受材の欠き込みが不要です。
- むり込み防止用に枠材を設けた場合でもご使用いただけます。
- 土台プレートⅡ(むり込み防止用)とアンカーボルトの干渉を回避できます。
- 高耐力77.2kNまでの引抜きに対応可能です。
- 四角穴ビスの簡単施工を実現しました。
- 本体の取付け高さは、土台・横架材の面から100mm以上に対応します。
- 本体・専用座金の表面処理は高耐食の溶融亜鉛めっきHDZ55のため、多様な環境で使用できます。

付属品

- 専用ビス YPR-115(Mグリーン)×35本
- 専用座金×1枚

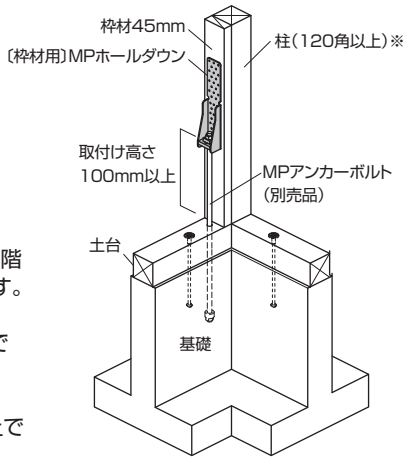
ボルト・座金について

本製品を使用する場合、必ず右記のMP専用金物(『MPアンカーボルト』『MP全ねじボルト』『MP座金』)をご使用ください。

施工方法

- ① 土台部のアンカーボルト(M20)や上下階の全ねじボルト(M20)に本体を通します。
 - ② 付属のビスで本体を柱に取付けます。
 - ③ 付属の専用座金を入れ、ナット(M20)で締付けます。
- ※ 対応する枠材の厚みは45mmです。
※ 枠材を固定する釘は、N90を17本以上で施工してください。

■取付図



※柱の樹種はスプルース同一等級集成材E95-F315以上としてください。



ハウスプラス確認検査(株)性能試験

〔枠材用〕MPホールダウン

短期基準接合引張耐力 (Pot) : 77.2kN

※120角以上の木材を使用してください。
※柱の樹種はスプルース同一等級集成材E95-F315以上としてください。

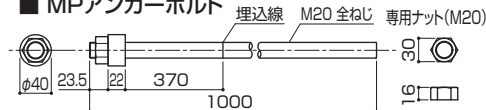
MP専用金物 (別売品)

使用箇所に応じてMP専用金物を適切にご使用ください。

対応可能耐力: 77.2kN

※〔枠材用〕MPホールダウンを併用した場合の耐力数値を表記しています。

■ MPアンカーボルト

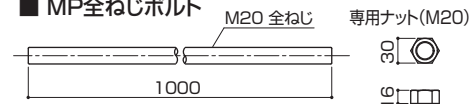


仕様条件

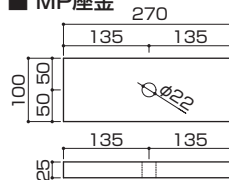
埋め込み深さ (mm)	370以上*
コンクリート幅 (mm)	150以上
コンクリート設計基準強度 (N/mm ²)	Fc=21 以上

※ アンカー笠下からの長さ

■ MP全ねじボルト



■ MP座金



※〔枠材用〕MPホールダウンを併用した場合のMP全ねじボルトとMP座金の応力計算書はBXカネシンのホームページよりダウンロードできます。

注意事項

- 柱寸法は120角以上としてください。
- 柱の樹種はスプルース同一等級集成材E95-F315以上としてください。
- 必ず付属の専用ビス、専用座金を使用して接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス・専用座金以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!! ビス頭が金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク(ねじ込み)を加えないでください。
- 必ずMP専用金物をご使用ください。※ナットは必ずボルトに付属された専用ナットをご使用ください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- 『MPアンカーボルト』の埋め込み長さはアンカー笠下370mm以上、基礎幅は150mm以上、コンクリート設計基準強度は21N/mm²以上としてください。
- 『MPアンカーボルト』の納まり図(図1)の場合は、アンカー芯から基礎端部まで390mm以上確保してください。(詳しくは『MPアンカーボルト』の取扱説明書を参照)
- ケガに注意!! 手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770
技術的なご相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077